

(様式⑦-1)

## 確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 令和7年度 学校力向上プラン【進捗状況】

中学校区におけるめざす子ども像・・・「自分・人を」「学ぶことを」「心と体の健康を」大切にできる子

堺市立はるみ小学校  
校長 川島 強

学校教育目標：（めざす子ども像）自ら学び、共に育つ自立した子どもの育成　主体的に学ぶ子ども・思いやりのある子ども・たくましい子ども  
 重点目標（組織目標）：自分ごととして考え、主体的に学びに向かう児童、他者と協働する児童を育成する  
 •自分や友だちの良い所を探す活動を通して、自己決定を促し、自己肯定感や自己有用感を高める活動を行う。仲間づくりの活動を行い、どの子も居場所のあるクラスづくりを行う。（人権委員会）  
 •研修テーマ「自己決定ができる児童を育てる授業づくり～学びのコンパスを見据えて～」（学力向上委員会）  
 ※教職員は最大の学習環境と捉え、堺市教職員の「働き方改革」推進のためのプラン「ウェルビーイング向上のための取組指針」に沿い、「これまでの当たり前を見直す」ことに取り組む。

確かな学びの現状		豊かな心・健やかな体の現状	
○ 令和6年度全国学力・学習状況調査（4月、6年生）や「すぐすぐウォッチ（大阪府学力調査）」（4月、5、6年生）では、情報の扱い方（国語）やデータの活用（算数）や地球を柱とする領域（理科）ではよい結果が見られた一方、「話すこと聞くこと」「言葉の特徴や使い方」「自分の考えをまとめ、伝える」「工夫して相手に伝える」などに関する事項に課題が見られた。		○ 令和6年度堺市学習・生活状況調査（5～6月、4～6年生）結果では「自分には、良いところがある」と肯定的に答えた児童の割合は82%（3学年平均）、「相手の気持ちを考え、優しい言葉遣いができる」と答えた児童の割合は82%（3学年平均）、「先生たちは自分のよいところを認めてくれた」88%、「友達は自分のよいところを認めてくれた」90%であった。	
○ 令和6年度堺市学習・生活状況調査（5～6月、4～6年生）では、「失敗をおそれず挑戦している」に肯定的回答78%（3学年平均）、「先生は、わかるまで教えてくれる」91%、「わからないことなどを質問しやすい雰囲気で授業が行われた」62%、「グループやペアで意見や考えを出し合い課題を解決した」69%、「1か月に、1冊も本を読まない」24%であった。		○ 令和6年度新体力テスト（6月）において、男女ともに、多くの項目で堺市平均を上回り、特に立ち幅跳びは全国平均を上回る。一方で、握力や上体起こしは堺市平均を下回る。運動器機能調査（7年4月、5年生対象、理学療法士による）では、身体や足首の柔軟性が気になるとのことだった。市平均値を上回る項目を維持継続するとともに、下回る項目において改善を図りたい。	
○ 令和6年度学校教育アンケート（1月、全児童）では、「学校へ行くのが楽しい」85%、「授業はわかりやすく、勉強ができるようになっている」94%、「図書室で本を読むことは好きだ」86%であった。		○ 支援を必要とする児童に対し、通常の学級、本年度30名が在籍する特別支援学級、設置2年目の通級指導教室での指導「はるみルーム」などの様々な学びの場での支援、指導の充実を図るとともに、授業のユニバーサルデザイン化を推進し、すべての児童が困らない学校（教室）をめざす。	

大項目	中項目	具体目標 (●重点とする取組) (★中学校区での取組に係る取組内容)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～12月)	達成状況(年度末)	
							自己評価	学校関係者評価
確かに学び	授業改善	主体的に学ぶ学習環境の充実	・主体的に学ぶことができる、心理的安全性の高い教室づくり ・教室（学習）環境を整える。 ・はるみ3つの約束（あいさつ、ろうか、チャイム着席）の定着を図る。 ・適切な課題の設定、ペアやグループで学ぶ場の設定 ●★自分の学びを自己決定（選択）する場を設ける。 ●一字一句読み取る指導を丁寧に行ったり、幅広いジャンルの読書をすすめたり、資料を読み要点をまとめて自分の考えを伝える活動（アウトプット）などにより、読解力や表現力を高める。 ●授業のUD化を推進し、どの子もわかる、できる授業づくりを行う。 ・ICTの効果的な活用を図る。 ・学びのコンパス、個別最適な学び、協働的な学び、自由進度学習等について理解を深め、指導に活かす。	アンケートによる肯定的評価80%以上	学校教育アンケート、各調査結果、授業や活動の観察、実践報告	年度末	◎ 計画通り進めている。	
		基礎学力の向上	・一字一句読み取る指導を丁寧に行ったり、幅広いジャンルの読書をすすめたり、資料を読み要点をまとめて自分の考えを伝える活動（アウトプット）などにより、読解力や表現力を高める。 ●授業のUD化を推進し、どの子もわかる、できる授業づくりを行う。 ・ICTの効果的な活用を図る。 ・学びのコンパス、個別最適な学び、協働的な学び、自由進度学習等について理解を深め、指導に活かす。	アンケートによる肯定的評価80%以上		年度末	◎ 計画通り進めている。	
	児童一人ひとりの特性や状況を理解した支援・指導の充実	●子ども支援委員会等を活用した児童の様子の共有 ・支援計画、指導計画活用、自立活動の充実、「学びの場」の見直し ・SSW（R7年度、本校本務校）、外部機関や専門家と連携 ・必要な児童への学びへのアクセス支援	アンケートによる肯定的評価80%以上	年度末	◎ 計画通り進めている。			
豊かな心・健やかな体	自信をもち、他者と協働する児童を育てる	●★自己決定、試行錯誤、成功体験積み重ねの支援 ・自分や他者の良いところ探し、仲間づくりや縦割り活動、いじめ防止の授業、自由の相互承認の理解、上位目標を共有した対話による課題解決などを通し、自己肯定感や自己有用感を高める。 ・予防的で成長を促す生徒指導を行う。	アンケートによる肯定的評価80%以上	学校教育アンケート、各調査結果、授業や活動の観察、実践報告	年度末	◎ 計画通り進めている。		
	体力の向上、安全な生活	●★運動を楽しむ機会、環境を充実させ、体力向上を図る。 ・けがの防止等について啓発し、安全で健康な生活を送ることができるようとする。	アンケートによる肯定的評価80%以上、 (参考)新体力テスト結果経年比較		年度末	◎ 計画通り進めている。		
	健康的な生活習慣の形成	・健康な生活等について啓発し、自らの食生活を考える力を育てるため食育授業や給食指導等を行う。	アンケートによる肯定的評価80%以上		年度末	◎ 計画通り進めている。		
信頼される学校	開かれた学校づくり	・地域の方々や関係機関と連携し、社会参画力の向上を図る。 ・オープンスクールやホームページ等を通して学校の様子を公開する。	アンケートによる肯定的評価80%以上	学校教育アンケート、各調査結果	年度末	◎ 計画通り進めている。		
	学校群の取組	・晴美台中学校区の取組初年度。組織づくり、目標設定、取組の検討をすすめる。	アンケートによる肯定的評価80%以上		年度末	◎ 計画通り進めている。		

校長より(年度末)

学校関係者評価者から(年度末)